

No. 146
2014.11.30



裏面も見てね

正しい取付け位置



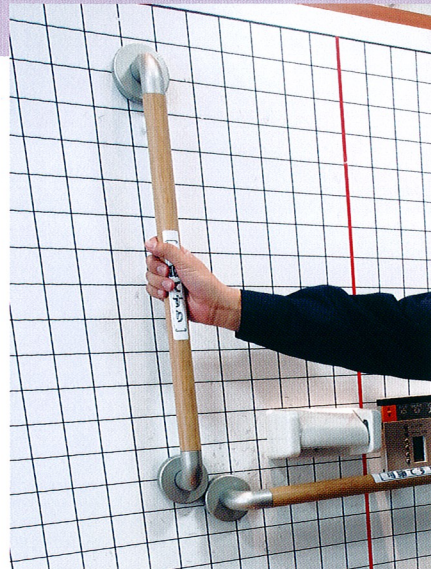
■階段■

一段目の20cm位手前から取り付けると安全に踏み出せるようになります。手すりの端部は、ぶつかったり、衣服が引っかからないように壁側か下側に曲げこむと安心です。左右両側につけるのが難しいときは、下りるときに使う手すりを優先させたほうが良いでしょう。



■廊下■

歩行時に使う横型の手すりは、使う人の足のつけねの骨(太たい骨の大転子)、または、手をおろした状態で手首の高さを目安にすると良いでしょう。



■トイレ■

立ち座りのために使う縦型の手すりです。足腰の力が弱くなると、深くお辞儀をした格好から立ちあがりますので、便器の先端から15~30cm前方にあると楽につかむことができます。

金沢福祉用具情報プラザでは、可動式の手すりをはじめ、様々な用具を展示しています。身体状況やご自宅のスペースにあわせて、使いやすさを確認することができます。

固定はしっかりと！

手すりには大きな力がかかります。最近、ホームセンターなどでも、簡単に取り付けできるタイプの手すりが売られていますが、しっかりした下地のない壁に付けると、力を入れたときに抜けてしまうことがあります。また、木製の手すりは止め具の間隔が広すぎると、体重をかけたときに折れてしまうことがありますので、注意が必要です。

なお、住宅改修には介護保険や金沢市の助成制度を利用できる場合がありますので、事前にケアマネジャーなどに相談してみると良いでしょう。

お気軽に相談を

このほかにも、手すりには、様々な材質や形状のものがあります。握りやすさや、部屋にあったデザインかどうかともよく確かめたほうが良いでしょう。

金沢福祉用具情報プラザでは、手すりをはじめ様々な介護用品や住宅改修モデルを展示しています。身体の状態や住宅の構造に合わせて、専門のスタッフが無料で相談をお受けしています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

※ここに掲載した内容は一例です。身体および生活状況等に合せた利用・選定をお勧めします。

取り付け時には要チェック！

手すりを取り付ける際は、使う人が実際に立ち会い、高さや距離など、正しい位置を計測することが何よりも重要です。安易に業者に任せてしまうと、本人の状態よりも、下地や柱(間柱)のある場所を優先したり、一般的・平均的な高さに取り付け、使いづらくなってしまう場合があります。

一人一人、身体の大きさや症状は異なります。右マヒのある人が右側に手すりをつけても使うことができません。もし、取り付けした後で、使いづらいと感じたら、工事を依頼した業者に相談をしてみましょう。



〈問い合わせ〉

介護や福祉のこと、私たちと一緒に考えましょう！

金沢福祉用具情報プラザ 運営/社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会

金沢市本町1-10-1 ルキーナ金沢1階・2階 TEL 076-234-9900

開館時間/10:00~19:00 休館日/火曜・年末年始(12/29~1/3)

URL/http://www.spacelan.ne.jp/~yogu-plaza Eメール/yogu-plaza@spacelan.ne.jp